

国土交通委員会

委員一覧 (25名)

委員長	小西	洋之 (立憲)	鶴保	庸介 (自民)	里見	隆治 (公明)
理事	朝日	健太郎 (自民)	豊田	俊郎 (自民)	石井	苗子 (維新)
理事	渡辺	猛之 (自民)	永井	学 (自民)	浜口	誠 (民主)
理事	森屋	隆 (立憲)	長谷川	岳 (自民)	大門	実紀史 (共産)
理事	安江	伸夫 (公明)	森屋	宏 (自民)	木村	英子 (れ新)
理事	青島	健太 (維新)	吉井	章 (自民)	— 欠員2名 —	
	足立	敏之 (自民)	小沼	巧 (立憲)		
	江島	潔 (自民)	杉尾	秀哉 (立憲)		
	高橋	克法 (自民)	佐々木	さやか (公明)	(会期終了日 現在)	

(1) 審議概観

第216回国会において本委員会に付託された法律案はなかった。

また、本委員会付託の請願2種類2件は、いずれも保留とした。

〔国政調査〕

12月10日、国土交通行政等の諸施策について、中野国務大臣から説明を聴取した。

12月19日、質疑を行い、リニア中央新幹線を2037年までに全線開通させる目標達成の可能性、リニア中央新幹線の整備を進めるに当たっての地域住民等への丁寧な説明の必要性、地域公共交通の危機的状況に対する国土交通大臣の見解と再生に向けた決意、国土交通省出身の国土交通大臣が所管行政に取り組む意気込み、自動車関係税制を簡素化しユーザーの負担軽減を図る必要性、持続的な事業環境の構築等により中心市街地の活性化を図る必要性、半島の防災及び道路・交通の確保対策の強化並びに振興対策予算の十分な確保の必要性、今後のインフラ老朽化対策についての国土交通省の展望、空き家の増加状況及び地域別・種類別の実態、特定空家等に対する除却等の代執行及び空き家対策モデル事業の実施状況、北陸新幹線（金沢・敦賀間）の開業による経済効果、京都駅周辺での北陸新幹線（敦賀・新大阪間）整備に係る課題に対する国土交通省の認識、賃上げを始めとする自動車整備士の処遇改善に向けた取組、現場の負担軽減の観点から保安基準適合証の有効期間を延長する必要性、建設業における適切な価格転嫁に資する建設Gメンの権限強化の必要性、建設業の現場の技能労働者への適切な賃金支払いの実現に向けた国土交通大臣の見解、車椅子の形状等を理由とした乗車拒否に対して国からバス事業者へ指導を行う必要性、車椅子の固定フック J I S 規格化等の協議の場を設けることに対する国土交通大臣の見解などの諸問題が取り上げられた。

(2) 委員会経過

○令和6年12月10日(火) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 国土の整備、交通政策の推進等に関する調査を行うことを決定した。
- 国土交通行政等の諸施策に関する件について中野国務大臣から説明を聴いた。

○令和6年12月19日(木) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- リニア中央新幹線の整備に関する件、自動車関係諸税の在り方に関する件、半島の防災及び振興対策の強化に関する件、空き家の現状と対策に関する件、北陸新幹線(敦賀・新大阪間)の整備に関する件、自動車整備士をめぐる諸課題に関する件、建設業就業者の処遇改善に関する件、車椅子利用者のバス利用に関する件等について中野国土交通大臣、高橋国土交通副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

杉尾秀哉君(立憲)、小沼巧君(立憲)、安江伸夫君(公明)、石井苗子君(維新)、青島健太君(維新)、浜口誠君(民主)、大門実紀史君(共産)、木村英子君(れ新)

○令和6年12月24日(火) (第3回)

- 請願第216号外1件を審査した。
- 国土の整備、交通政策の推進等に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。